

# 平成30年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業費(区役所庁舎利用者快適化事業)			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675000		地域支援担当		矢島	64836	

事業の概要									
<b>事業の概要</b>		乳幼児を連れて来庁する利用者の安全対策を図り、また庁舎利用者への市民サービス向上を図るため、盗難防止機能付きの傘立てを新たに設置する。							
<b>実施期間</b>		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区の新たな課題即応事業	
		平成30年度		平成30年度					
<b>地域の課題と現状</b>		保健福祉センターでは、乳幼児健診等で月に10回程度、数十組の乳幼児を連れてきた親子が来庁する。健診の際には1階と2階を行き来する必要があるが、傘を持ち歩いている移動が危険なため、傘は傘立てに置く必要がある。傘立てに傘を置いた場合の盗難への不安感を解消し、安全に、安心して健診に参加してもらうため、盗難防止機能付きの傘立ての設置が必要である。							
<b>予決算</b> (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	230	230						
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	357	230						

事業の目的		乳幼児を連れて来庁する市民が、安全に安心して庁舎を利用できることを目的とする。
今年度の事業の取組内容		保健福祉センター1階入口付近に、盗難防止機能付きの傘立てを設置する。

実施結果 (Do)										
<b>上記取組内容に対する達成度</b>		<b>3</b>	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
<b>取組内容の実績等</b>		保健福祉センター1階入口付近に、盗難防止機能付きの傘立てを設置した。								
<b>数値で把握することが可能な取組</b>	指標分類	指 標				H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
	1	活動指標	盗難防止機能付き傘立ての設置数			1				台
						1				

評価 (Check)			
<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>		乳幼児を連れてきた市民が、安全に庁舎を利用できるよう適切かつ速やかに対応することが必要とされている。	
<b>事業の見直し・改善内容</b>		<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		引き続き、市民にとって身近である区役所・保健福祉センターが新たな課題に適切かつ速やかに対応する必要がある。	
評価項目		評価	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	<b>a</b>
	評価の理由	市民にとって身近である区役所・保健福祉センターが、庁舎の安全な利用に向けて適切かつ速やかに対応することは、継続して求められ、今後も推進していく必要がある。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	<b>a</b>
	評価の理由	雨天時の健診などで、乳幼児連れの利用者が安全に庁舎を利用することが可能となっている。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	<b>a</b>
	評価の理由	庁舎の安全対策については、今後も継続して改善する必要がある。	

改善 (Action)		
<b>今後の事業の方向性</b>	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
盗難防止機能付き傘立て設置完了により、今年度の事業は終了する。今後は、市民に身近な区役所・保健福祉センターとして庁舎の安全対策や市民サービス向上について、必要があればその都度対応する。		

# 平成30年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業費(高津区災害対策本部機能強化事業)			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			670000		危機管理担当		小島	64353	

事業の概要									
事業の概要		大規模災害発生時に、区災害対策本部が円滑かつ適切な災害対応を行うことができるよう、区災害対策本部の運営に係る環境整備(電話回線、LAN、必要物品の配備)を行う。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業費			
		平成30年度	平成30年度						
地域の課題と現状		区災害対策本部各班が各執務スペースで災害対応を行った場合、危機管理担当における情報の集約や調整が困難になるほか、各班の情報共有が阻害されるため、円滑かつ適切な災害応急対応ができない恐れがあることから、区災害対策本部事務局室内に執務スペースを設け、各班の災害対応業務を一体的に実施するため、所要の環境整備を行う必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	1,429	1,299						
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,429	1,299						

計画 (Plan)	
事業の目的	大規模災害発生時に、区災害対策本部が円滑かつ適切な災害対応を行うことができるよう、環境整備を行う。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話使用環境の整備</li> <li>庁内イントラ使用環境の整備</li> <li>必要物品の整備</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3	<ol style="list-style-type: none"> <li>目標を大きく上回って達成</li> <li>目標を上回って達成</li> <li>ほぼ目標どおり</li> <li>目標を下回った</li> <li>目標を大きく下回った</li> </ol>							
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話工事をし、各課の電話を5階会議室で使用できるようにした。</li> <li>ハブを配備し、5階会議室で庁内イントラを使用できるようにした。</li> <li>ホワイトボード等必要物品を整備し、区本部の効果的な運営ができるようにした。</li> </ul>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
	1	活動指標	区災害対策本部の環境整備	目標	0				回
				実績	1				
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	東日本大震災や熊本地震などを大震災や、台風等による豪雨災害などを受け、区災害対策本部の円滑・効果的な活動に向けた取組をさらに推進する必要がある。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
	<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	昨今の自然災害の発生状況を受け、防災全体に対するニーズは高まっていると考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区災害対策本部の機能強化が図られている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区災害対策本部の機能強化はさらに取り組んでいく必要がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
本事業で行った環境整備を踏まえて、区本部訓練などを実施し、区災害対策本部の機能強化を引き続き図っていく。		

# 平成30年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	50	05	区の新たな課題即応事業費(区役所庁舎放送設備最適化事業)			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671600		高津区役所まちづくり推進部総務課			磯崎悠祐	64113

事業の概要											
事業の概要		放送設備の更新を行い、定例的な放送実施するためのタイマープログラム上限数を増やす。									
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区の新たな課題即応事業費			
		平成30年度		—							
地域の課題と現状		現在、高津区役所の放送設備は定例的な放送実施するためのタイマープログラム登録可能数が4件しかなく、既に4件登録済みのため来庁者向けの放送を毎日定時で行うためにはマイクを通じて肉声で放送を行っている。そのため、業務都合等により予定時刻に放送できない事象が時折発生しており、来庁者へのきめ細やかな情報提供や注意喚起に支障が生じている。									
予決算 (単位:千円)	財源内訳	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度			
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
		事業費		318	318						
		国庫支出金									
	市債										
	その他特財										
	一般財源	318	318								

計画 (Plan)	
事業の目的	登録可能なタイマープログラム上限数を増やし、放送を毎日定時で行うことにより、来庁者へのきめ細やかな情報提供や注意喚起を実施する。
今年度の事業の取組内容	放送設備の更新を行い、タイマープログラム登録可能数を増やす。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		放送設備も更新を行い、タイマープログラム登録可能数を増やした。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標				H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	単位
	1	活動指標	タイマープログラム登録可能数	目標	64					個
				実績	64					
	2	活動指標		目標						
				実績						
	3	活動指標		目標						
実績										
4	活動指標		目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		詐欺被害や交通事故等が相次いで発生しており、来庁者へのきめ細やかな情報提供や注意喚起を行い防止していく必要がある。また、より多くの市の情報を来庁者に認知してもらうには定例的な放送が必要となる。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		庁内に定例的な放送を希望する音声各課へのリタイマープログラムの登録を増やしていく。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	詐欺被害や交通事故等はいまだ多く発生しており、継続的に注意喚起する必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	定例的な放送を増やすことにより、より多くの市政情報の認知を来庁者に促した。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	年一回各課に希望する定例放送を募集し、その中から精査を行った上でタイマープログラムに登録を行う。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	庁内に定例的な放送を希望する音声各課へのリタイマープログラムの登録を増やしていく。